

会計名 一般会計			保育士研修事業				担当部	次世代育成部	
款	項	目					担当課	子ども課	
3	2	3					担当係	保育園係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	研修計画に基づき、実践に活かしていける研修や保護者支援、子育て支援につながる研修を取り入れて実施することにより、保育内容の充実と質の向上を図る。	主たる内容	各種研修会を開催するとともに、県・外郭団体が行う研修会に参加する。 ○各種研修会 ・保育指導研修 ・保育実技研修 ・園長、主任研修 ○研修旅費 ・愛知県現任保育士研修 ・新任職員セミナー等					
	位置づけ 関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画							
	根拠法令								
	対象者	保育園保育士		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 計画 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・保育士職員研修 25回 358人 ・保育士・教諭合同研修 9回 146人 ・愛知県現任保育士研修 4回 11人 ・新任職員セミナー 1回 14人		・保育士職員研修 63回 680人 ・保育士・教諭合同研修 12回 130人 ・愛知県現任保育士研修 4回 10人 ・新任職員セミナー 1回 15人		・保育士職員研修 45回 913人 ・保育士・教諭合同研修 11回 130人 ・愛知県現任保育士研修 4回 8人 ・新任職員セミナー 1回 14人		・保育士職員研修 45回 860人 ・保育士・教諭合同研修 11回 130人 ・愛知県現任保育士研修 4回 9人 ・新任職員セミナー 1回 15人	
成果		研修を精選し、保育に即活かせる研修として園で行う実技研修や、公開保育のある研修に参加することができた。また、階級に応じた研修を受けることで、保育園における自己の立場を自覚し現場に活かしている。							
課題		平成26年度は、研修内容を即実践に活かせるものや、園で行うことで多くの職員が参加しやすいことに努めてきた。今後も保育士研修計画に基づき、保育士の資質向上を目指しながらも、研修が保育士の負担にならず学ぶ意欲につながるようにしていくため、研修の形態及び内容や講師の選択等を考えていきたい。							
O 計画 V	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
	活動指標	保育士研修を受講した保育士の割合（％）		96.9	98.0	96.2	100.0	100.0	
	指標	_____							
他市との比較検証	_____								
C 事業 コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,505	1,520	2,705	3,688	合計	2,704,500 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	1,858,250 円	
		一般財源	1,505	1,520	2,705	3,688	旅費	498,250 円	
	職員人件費 ②		1,052	1,056	1,175	1,141	委託料	282,000 円	
	総事業費（①+②）		2,557	2,576	3,880	4,829	負担金、補助及び交付金	66,000 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		_____					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			保育士研修事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	保育園係
3	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	保育内容の充実と質の向上のために必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	実践に即活かしていける研修として今後も計画的に進める必要がある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	保育の専門知識や保育技術を習得し、公立保育園の保育士の資質向上を図るため、市の関与が妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	保育士の人間性と専門性の向上により、子どもの保育、教育に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
社会の動向とともに保育所のニーズや役割がますます高まる中、国においては「子ども・子育て支援新制度」の構築がなされ、幼児期の保育・教育の一体化が求められており、保育士にはより一層の専門的な役割と責務が課せられている。そのため保育士には研修を受け質の向上も求められている。 この事業は、保育内容の充実と質の向上を目的に、毎年研修計画に基づき実施しており、実践に活かしていける研修や保護者支援、子育て支援につながる研修を取り入れて実施している。 今後も地域とともに育ち合う保育所の中心的な役割を目指して、その役割を担う保育士の人間性、専門性を高める研修の充実を図る。					

会計名			園児観劇事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	保育園係		
3	2	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	保育・幼児教育の充実							
	目的	園児に観劇等を鑑賞させることにより、豊かな感性を培うとともに心豊かな子どもを育てる。				主たる内容	保育園児を対象にした人形劇を各保育園で上演する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画							
		根拠法令								
	対象者	保育園児			事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		・人形劇上演（富士松南保育園始め8園） 4～6演目から園で選択		・人形劇上演（富士松南保育園始め8園） 4～6演目から園で選択		・人形劇上演（富士松南保育園始め8園） 「はっくしよんしてよ かくん」「はっぴいキッチン」など4演目より選択		・人形劇上演（富士松南保育園始め8園） 「大きなかぶ」「びんぼう神とふくの神」など4演目より選択 ・劇上演（富士松南保育園はじめ8園）刈谷市にちなんだ演目		
成果		専門家による人形劇を観劇することにより、園児の情操を育てることができた。 毎年新しい人形劇の演目を追加しており、また、複数の演目の中から園が選択できる方式をとっているため、園ごとの特性等を反映させ実施することができた。								
課題		情操教育に活かすことができる新たな魅力を持った内容を検討する必要がある。								
C 実施	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
	活動指標	実施回数（回）			8	8	8	16	16	
	指標	_____								
他市との比較検証	_____									
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		651	657	670	1,096	合計	669,600 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	669,600 円		
		一般財源	651	657	670	1,096				
	職員人件費 ②		351	352	392	380				
	総事業費（①+②）		1,002	1,009	1,062	1,476				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		_____						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			園児観劇事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	保育園係
3	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	子どもが幼少期に育むべき基礎的な能力である感性等を豊かにし、言語的・情緒的な発展に繋げることができる事業であるため、必要性は非常に高い。また、観劇内容を先生や家族と話すことでコミュニケーション能力の向上も図ることができ、保護者等からも好評である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	専門家に委託して実施することで、運営の効率化や演目内容の充実化を図ることができている。毎年、複数の演目からそれぞれの園が選択できるものであるため、園ごとの特性等を反映させ効果的に実施することができている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	観劇体験を通して園児の豊かな感性等を育むことにより、市が重点を置いている「生きる力の育成」に繋がるため、市が主体となり実施していくことが妥当であるといえる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	子ども達はコミュニケーション能力や思考力、判断力、表現力などが身に付き、また、観劇という普段とは違った企画を加えることで、通常の保育にも良い相乗効果が生まれるため、保育・幼児教育の充実に貢献しているといえる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
子どもが幼少期に育むべき基礎的な能力である感性等を豊かにし、言語的・情緒的な発展に繋げていくことができる事業である。そのためにも、社会情勢の変化によりデジタル化やアニメーション志向の高まり等はあるものの、昔から親しまれてきている人形劇という形に意義があると考え、引き続き、常に子ども達にとってより有効な内容を検討しつつ、本事業を実施していく。					

会計名			保育カウンセラー事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	保育園係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	臨床心理士が、保育カウンセラーとして保護者等の子育てに関する相談について、専門的な立場から指導を行い、育児不安を解消したり、保育士の保育指導に生かしたりして、育児支援の充実を図る。			主たる内容	保育カウンセラーが市内全保育園を年5回巡回し、発達障害や子どもの育児に悩む保護者や保育士等の相談に対応する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令							
		対象者	保護者、保育園保育士			事業期間	平成19年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・訪問回数 51回 ・相談件数 247件 うち保護者 47件 保育士200件		・訪問回数 58回 ・相談件数 249件 うち保護者 40件 保育士209件		・訪問回数 65回 ・相談件数 253件 うち保護者 30件 保育士223件		・訪問回数 65回 ・相談件数 260件 うち保護者 30件 保育士230件	
成果		年々、気になる子や障害児は増えており、カウンセリングを受けることで、保育指導の充実は図れており、実施回数も増やすことができた。 各園の訪問回数を確保することで、継続観察が必要な子に時間をかけて指導がもらえ、また、保護者からの相談も以前に比べ増加している。							
課題		臨床心理士から専門的立場で子どもを見てもらえるため、保育指導への効果が大きく、保護者への相談に柔軟に対応しているが、相談希望者が増加し一人にかかる時間も増えているため、継続的観察回数を増やす必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		年間訪問回数（回）			51	58	65	65	70
活動指標		相談件数（件）			247	249	253	260	260
他市との比較検証		近隣市においても、臨床心理士等に指導を仰ぎ実施しているが、回数や時間数はばらつきがある。今後もより一層の充実を図る必要がある。							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,513	1,658	1,859	1,925	合計	1,859,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	1,859,000 円	
		一般財源	1,513	1,658	1,859	1,925			
	職員人件費 ②		1,403	1,408	1,567	1,521			
	総事業費（①+②）		2,916	3,066	3,426	3,446			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0		_____			
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			保育カウンセラー事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	保育園係
3	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	発達障害など子どもの育児に悩む保護者や保育士からの相談件数は多く、引き続き需要は高いと考えられる。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	相談希望者数に加え、相談時間も増加しているニーズに応えつつ、効率的な体制を検討していく必要がある。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	適切に保育カウンセラーを巡回する配置などは市が主体となって実施すべきである。また、保育士の資質向上など総合計画に位置付けられた取組である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	保護者の育児不安の解消や、保育士の資質の向上などに効果的な事業であり、実際に大変参考になっているとの声もある。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
継続観察が必要な子に対するの対応など検討しながら、効果的な事業であることから継続的に実施していく。					

会計名			私立幼稚園保育料補助事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	管理係	
10	4	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	公私幼稚園間における保護者負担授業料の格差是正を図る。			主たる内容	私立幼稚園就園奨励費補助の対象とならない保護者に保育料の一部を補助する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	私立幼稚園児の保護者			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		私立幼稚園就園奨励費補助の対象とならなかった保護者に保育料の一部を補助した。 ・年26,400円/園児1人当たり		私立幼稚園就園奨励費補助の対象とならなかった保護者に保育料の一部を補助した。 ・年26,400円/園児1人当たり		私立幼稚園就園奨励費補助の対象とならなかった保護者に保育料の一部を補助した。 ・年26,400円/園児1人当たり		私立幼稚園就園奨励費補助の対象とならなかった保護者に保育料の一部を補助する。 ・年26,400円/園児1人当たり	
成果		私立幼稚園就園奨励費補助の対象とならなかった保護者に補助し、公立幼稚園との保育料の格差是正を図ることができた。							
課題		対象者を的確に把握し執行しているが、海外勤務対象者の増加に伴い、システム以外での正確な処理が必要となっている。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		児童数（人）			267	163	158	153	150
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		6,578	4,004	3,806	4,040	合計 3,806,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 3,806,000 円		
		一般財源	6,578	4,004	3,806	4,040			
	職員人件費 ②		1,052	704	783	760			
	総事業費（①+②）		7,630	4,708	4,589	4,800			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			私立幼稚園保育料補助事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	管理係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	私立幼稚園を利用する保護者にとって、保育料補助があることにより負担の軽減となる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	園を通じて申請を行うことで、すべての対象者に補助を実施することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	就園奨励費補助に該当しない世帯においても、保護者の負担軽減を図ることができるため、市の関与が妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	保護者の保育料負担を軽減することにより、施策に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も継続して実施する。					

会計名			園児観劇事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	幼稚園係		
10	4	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	保育・幼児教育の充実							
	目的	園児に観劇等を鑑賞させることにより、豊かな感性を培うとともに心豊かな子どもを育てる。			主たる内容	幼稚園児を対象にした人形劇を各幼稚園で上演する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画							
		根拠法令								
		対象者	幼稚園児		事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		・人形劇公演（刈谷幼稚園始め16園） 4～6演目から園で選択		・人形劇公演（刈谷幼稚園始め16園） 4～6演目から園で選択		・人形劇公演（刈谷幼稚園始め16園） 「はくしよんしてよ かばくん」「はっぴいキッチン」 など4演目より選択		・人形劇公演（刈谷幼稚園始め16園） 「おおきなかぶ」「びんぼう神とふくの神」など4演目より選択 ・劇上演（刈谷幼稚園始め16園）刈谷市にちなんだ演目		
成果		専門家による人形劇を観劇することにより、園児の情操を育てることができた。 毎年新しい人形劇の演目を追加しており、また、複数の演目の中から園が選択できる方式をとっているため、園ごとの特性等を反映させ実施することができた。								
課題		情操教育に活かすことができる新たな魅力を持った内容を検討する必要がある。								
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
	活動指標	実施回数（回）			16	16	16	32	32	
	他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		1,565	1,629	1,646	2,559	合計	1,645,920 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,645,920 円		
		一般財源	1,565	1,629	1,646	2,559				
	職員人件費 ②		351	352	392	380				
	総事業費（①+②）		1,916	1,981	2,038	2,939				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称					
	27年度までの累積事業費		0		_____					
	29年度以降の事業費見込		0							

会計名			園児観劇事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	幼稚園係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	子どもが幼少期に育むべき基礎的な能力である感性等を豊かにし、言語的・情緒的な発展に繋げることができる事業であるため、必要性は非常に高い。また、観劇内容を先生や家族と話すことでコミュニケーション能力の向上も図ることができ、保護者等からも好評である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	専門家に委託して実施することで、運営の効率化や演目内容の充実化を図ることができている。毎年、複数の演目からそれぞれの園が選択できるものであるため、園ごとの特性等を反映させ効果的に実施することができている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	観劇体験を通して園児の豊かな感性等を育むことによって、市が重点を置いている「生きる力の育成」に繋がるため、市が主体となり実施していくことが妥当であるといえる。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	子ども達はコミュニケーション能力や思考力、判断力、表現力などが身に付き、また、観劇という普段とは違った企画を加えることで、通常の幼児教育にも良い相乗効果が生まれるため、幼児教育の充実に貢献しているといえる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
子どもが幼少期に育むべき基礎的な能力である感性等を豊かにし、言語的・情緒的な発展に繋げていくことができる事業である。そのためにも、社会情勢の変化によりデジタル化やアニメーション志向の高まり等はあるものの、昔から親しまれてきている人形劇という形に意義があると考え、引き続き、常に子ども達にとってより有効な内容を検討しつつ、本事業を実施していく。					

会計名							担当部	次世代育成部	
一般会計			預かり保育実施事業				担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	幼稚園係	
10	4	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	通常の保育終了後または長期休業時に、預かり保育を希望する保護者の在園児を預かることにより、保護者の子育て支援をする。			主たる内容	○幼稚園での預かり保育の実施 ・対象者 出産、就労、傷病及び障害がある親族を看護、介護している保護者、緊急な事情で預かり保育を必要とする者 ・実施日 保育が行われる日並びに長期休業中の夏休み冬休み、春休み（3月末日まで）の平日（8月13日から15日、12月29日から翌1月3日は除く）			
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令							
		対象者	幼稚園児、保護者			事業期間	平成16年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		利用人数 18,829人		利用人数 26,839人		利用人数 38,611人		利用人数 39,000人	
成果		就労、母親の通院、祖父母の看護、兄弟の予防接種、学校行事やボランティアへの参加など、保育時間終了後、緊急時に支援が必要な保護者のニーズに応えることができた。							
課題		平成24年度より全園で就労条件を加え、平成27年度には定員の拡大や長期休業中の時間拡大を図り、保護者の多様なニーズに応えているが、今後も利用者の増加に伴う対応や保育の在り方について検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標	定員の拡大（人）			20	20	40	40	40	
成果指標	利用人数（人）			18,829	26,839	38,611	39,000	42,000	
他市との比較検証	_____								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		800	800	800	1,600	合計	799,987 円	
	財源	特定財源	800	800	800	1,600	需用費	799,987 円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		1,753	1,408	1,567	1,521			
	総事業費（①+②）		2,553	2,208	2,367	3,121			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費			0	預かり保育利用負担金					
29年度以降の事業費見込			0						

会計名			預かり保育実施事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	幼稚園係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	保護者が就労していても幼稚園へ通うことができる。また、病気やけがなどの緊急時に支援が必要な場合に通いなれたなれた幼稚園に子どもを預けることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	幼稚園と保育園の連携強化の中での人事交流により、幼稚園における保育が充実する事や、今ある幼稚園の施設で事業を行う事から、効率よく事業が実施できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	幼稚園と保育園の連携強化の中で、公立幼稚園において実施している事業のため市が主体となって行う必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	緊急的に支援が必要になった時や、就労などで子どもを預ける必要が発生した場合に、新たな保育サービスを探さなくても幼稚園で対応ができる。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<p>保育の内容の向上や預かり時間の延長など、保護者ニーズにあった受け入れ対応を行う。指導員の増員をし、保護者のニーズに対応していくよう努める。</p>					

会計名			幼稚園教職員研修事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	幼稚園係	
10	4	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	研修計画に基づき、研修会の開催及び各種の幼児教育研修会に参加することで、保育内容の充実と教師の資質向上を図る。	主たる内容	各種研修会を開催するとともに、県・外郭団体が行う研修会に参加する。 ○各種研修会 ・5年目教員研修 ・保育技術向上研修 ・園長、主任研修 ・学年主任研修 ・保育内容指導研修会 ○研修旅費 ・先進幼稚園訪問 ・10年経験者研修会 ・新採用教員研修会 等					
	位置づけ	関連計画		刈谷市子ども・子育て支援事業計画					
		根拠法令							
		対象者	幼稚園教諭	事業期間	～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業 D 実績 O 計画 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・県研修 30日 236人 ・市研修 25日 185人 教員研修 10日 185人 保育士・教諭合同研修 15日 115人 ・先進地研修 5県 5人		・県研修 23日 217人 ・市研修 25日 251人 教員研修 11日 251人 保育士・教諭合同研修 14日 86人 ・先進地研修 5県 6人		・県研修 19日 138人 ・市研修 7日 110人 教員研修 7日 110人 保育士・教諭合同研修 11日 251人 ・先進地研修 5県 4人		・県研修 19日 166人 ・市研修 17日 630人 教員研修 17日 630人 (幼稚園教育調査研究事業より移行) 保育士・教諭合同研修 11日 240人 ・先進地研修 5県 5人	
成果		各研修会では、教師の課題を捉えた研修内容で研修会を行ったことで、教師の資質向上につながっている。							
課題		参加者の経験に応じて研修テーマを設定し、参加者は学ぶことができた。しかし、研修に参加することに負担を感じている先生がいる。研修の内容を検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標	教職員研修を受講した教員の割合（％）		70.0	87.0	90.0	100	100		
指標	_____								
他市との比較検証	_____								
C 事業 コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		744	823	884	1,617	合計	884,054 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	75,000 円	
		一般財源	744	823	884	1,617	旅費	583,054 円	
	職員人件費 ②		701	704	2,350	2,281	負担金、補助及び交付金	226,000 円	
	総事業費（①+②）		1,445	1,527	3,234	3,898			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		_____					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			幼稚園教職員研修事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	幼稚園係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	保育の充実と質の向上のために、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	保育の悩みが解決でき、実践に生かせる事業であり、今後も計画的に進める必要がある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	保育の質の向上を図りつつ、子ども達の成長、生きる力の育成に繋がり、市の関与が妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	保育力向上により、質の高い保育を提供し、家庭、地域と連携した幼稚園運営に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
国による「子ども・子育て支援新制度」の構築がなされ、幼児期の保育・教育の一体化が求められており、幼稚園教諭にはより一層の専門的な役割と責務が課せられているのが現状である。 この事業は、保育内容の充実と質の向上を目的に、実践に生かせる研修として毎年計画的に実施しており、今後は社会の動向を見据え、時代に即した幼児教育の質の向上を図る研修として考えていくことが重要である。					

会計名			ほのぼのルーム設置事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	幼稚園係		
10	4	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	保育・幼児教育の充実							
	目的	幼稚園が地域の子育て支援センター機能を果たすとともに、就園に対する不安を解消するため、施設及び機能の一部を地域に開放し、小学校入学前の子どもとその保護者を対象に、積極的な子育て支援をする。			主たる内容	○子育て相談活動 ○親子の遊びの紹介 ○未就園児への遊びの提供 ○「ほのぼのだより」等の子育て資料作成 園開設期日：各園2日/月 相談員等：指導員1名				
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画							
		根拠法令								
		対象者	小学校入学前の子どもとその保護者		事業期間	平成12年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		全幼稚園16園で実施 5月から3月までの22回実施 のべ利用者数 6,044人 (1園1回あたり平均利用者数 17.0人)		全幼稚園16園で実施 5月から3月までの22回実施 のべ利用者数 6,425人 (1園1回あたり平均利用者数 18.2人)		全幼稚園16園で実施 5月から3月までの22回実施 (日高幼稚園は12回) のべ利用者数 5,683人 (1園1回あたり平均利用者数 15.3人)		全幼稚園16園で実施 5月から3月までの22回実施 (双葉幼稚園は12回) のべ利用者数 6,156人 (1園1回あたり平均利用者数 18人)		
成果		参加者からは、「幼稚園の雰囲気や園児の生活の様子がよくわかった」「母親同士の会話が楽しく、友達もできた」「悩みを聞いてもらい、スッキリした」「ふれあい遊びや手遊びを知ることができた」などの声があり、安心して親子共に幼稚園に親しんだり、子育ての相談に応じることが出来た。								
課題		多くの方に、この事業をさらに活用してもらえるよう、情報提供の方法について工夫をしていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標	実施回数（回）				352	352	348	342	352	
成果指標	利用者数（人）				6,044	6,425	5,683	6,156	6,600	
他市との比較検証	未就園児遊びの会（本市では「ほのぼのルーム」）は県内の多くの自治体を実施している。（全園実施）名古屋市、豊田市、碧南市、西尾市、安城市、新城市、清州市、知多市、半田市、常滑市（未実施）高浜市									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①		1,234	1,228	1,247	1,280	合計	1,246,744 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	1,086,750 円		
		一般財源	1,234	1,228	1,247	1,280	需用費	159,994 円		
	職員人件費②		701	704	783	760				
	総事業費（①+②）		1,935	1,932	2,030	2,040				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		_____						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			ほのぼのルーム設置事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	幼稚園係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	少子化や核家族化等の社会状況の変化に伴い、増大している子育てに対する不安や悩みに対応するため、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	指導員は臨時職員で対応するとともに、幼稚園の空き部屋を活用して実施することにより、コスト節減を図っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	就園前から幼稚園での生活を体験することにより、幼稚園と家庭が連携して幼児を育てていく基盤づくりのため、市の関与が妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	成長を喜び合える、地域の子育て支援センター的機能を果たすとともに、就園前の体験入園的に活用することにより、子どもの成長と子育て支援の充実に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も引続き事業を継続し、子育ての悩みや問題点を共有し、子ども達の成長をお互いに見守り、援助していく体制づくりに繋げていきたい。 さらに今後、指導員の質の向上、実施回数や時間、事業の周知方法などを検討し、地域の子育て支援機能の強化を図ってきたい。					

会計名 一般会計			保育カウンセラー事業				担当部	次世代育成部	
款	項	目					担当課	子ども課	
10	4	1					担当係	幼稚園係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	臨床心理士が、保育カウンセラーとして保護者等の子育てに関する相談について、専門的な立場から指導を行い、育児不安を解消したり、教諭の保育指導に活かし育児支援を行う。		主たる内容	臨床心理士の巡回指導を各幼稚園で年5回開催し、発達障害や子どもの育児に悩む保護者や教諭等の相談に対応する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令							
		対象者	保護者 幼稚園教諭		事業期間	平成19年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・訪問回数 80回 ・相談件数 275件 うち保護者 49件 教諭 226件		・訪問回数 80回 ・相談件数 286件 うち保護者 41件 教諭 245件		・訪問回数 80回 ・相談件数 244件 うち保護者 25件 教諭 219件		・訪問回数 80回 ・相談件数 250件 うち保護者 30件 教諭 220件	
成果		年間1園あたり5回になったことで、相談件数が増えたり、1事例について、ゆっくりと充実した検討会になった。継続的に指導を受けているので、保育指導の改善に結びついた。子育てに手がかかる子どもの対応に専門的な見地から相談に応じてもらえ、保護者から大変喜ばれている。							
課題		幼稚園での具体的な場面での対応の指導は、非常に効果が上がっているが、相談したい対象園児の増加により、十分な時間がない状況である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
活動指標		年間訪問回数（回）	80	80	80	80	96		
活動指標	相談件数（件）	275	286	244	250	260			
他市との比較検証	近隣市においても、臨床心理士等に指導を仰ぎ実施しているが、回数や時間数はばらつきがある。今後もより一層の充実を図る必要がある。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①	2,200	2,173	2,200	2,200	合計	2,200,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	2,200,000 円	
		一般財源	2,200	2,173	2,200	2,200			
	職員人件費 ②	1,403	704	783	760				
	総事業費（①+②）	3,603	2,877	2,983	2,960				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		_____					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			保育カウンセラー事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	幼稚園係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ート	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	発達障害など子どもの育児に悩む保護者や教諭からの相談件数は多く、引き続き需要は高いと考えられる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	相談希望者数に加え、相談時間も増加しているニーズに応えつつ、効率的な体制を検討していく必要がある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	適切に保育カウンセラーを巡回する配置などは市が主体となって実施すべきである。また、教諭の資質向上など総合計画に位置付けられた取組である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	保護者の育児不安の解消や、教諭の資質の向上などに効果的な事業であり、実際に大変参考になっているとの声もある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
継続観察が必要な子に対するの対応など検討しながら、効果的な事業であることから継続的に実施していく。					

会計名 一般会計			認可外保育所利用補助事業				担当部	次世代育成部	
款	項	目					担当課	子ども課	
3	2	1					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	認可外保育所利用者の保育料負担を軽減することにより、子育て支援の充実を図る。	主たる内容	認可保育所への申込みを行ったが、入所できずに認可外保育所を利用することになった3歳未満児の保護者に対して、所得に応じた保育料を補助する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	保護者	事業期間	平成24年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		補助人数 延べ681人		補助人数 延べ733人		補助人数 延べ1,390人		補助人数 延べ1,450人	
成果		認可外保育所を利用する保護者の負担を軽減することが出来た。							
課題		事業の対象者は、認可保育所に入園できない児童の保護者であるため、認可保育所等の整備を行い、補助事業対象者の減少を図る必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		延べ児童数（人）			681	733	1,390	1,450	1,150
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		16,979	18,689	35,221	45,432	合計 35,220,840 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 35,220,840 円		
		一般財源	16,979	18,689	35,221	45,432			
	職員人件費 ②		1,052	1,056	1,175	760			
	総事業費（①+②）		18,031	19,745	36,396	46,192			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			認可外保育所利用補助事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	管理係
3	2	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	認可保育所を希望しても入所できず、認可外保育所を利用する保護者にとって、利用料の補助があることにより負担の軽減となる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	認可外保育所に案内書や申請書の配布や掲示等を実施したことにより、多くの対象者に周知することが出来た。また、毎月、補助を行うことにより保護者の負担の軽減となっている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	利用料の補助を実施することにより、認可保育所と同程度の保育料負担にすることができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	保護者の保育料負担を軽減することにより、施策に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
待機児童が発生する状況の中で、今後も補助制度を維持するが、認可保育所の整備を図ることにより、対象者を減少させていく。					

会計名 一般会計			公立幼稚園保育料補助事業				担当部	次世代育成部	
款	項	目					担当課	子ども課	
10	4	1					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	公立幼稚園に通う園児を持つ多子世帯の保護者への負担軽減を図る。			主たる内容	小学3年生以下の兄又は姉を持つ第2子に当たる公立幼稚園児の保護者に対し、保育料の一部を補助する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	保護者			事業期間	平成26年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
				・児童数 722人		・児童数 733人		・児童数 738人	
成果		公立幼稚園に通う園児を持つ多子世帯の保護者への負担軽減を図ることができた。							
課題		年間保育料97,200円に対し、補助額が40,000円のため、第2子の保育料負担が半額を超えていることが課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		児童数（人）			—	722	733	738	740
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	28,600	28,901	30,120	合計 28,901,200 円		
	財源	特定財源	0	7,182	0	0	負担金、補助及び交付金 28,901,200 円		
		一般財源	0	21,418	28,901	30,120			
	職員人件費 ②		0	70	78	76			
	総事業費（①+②）		0	28,670	28,979	30,196			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			公立幼稚園保育料補助事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	管理係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	公立幼稚園に通う園児を持つ多子世帯の保護者に対し、保育料の負担軽減を図ることができる。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	6月に案内を保護者に配布したことで、多くの対象者に周知することができた。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	保育料補助を実施することにより、認可保育所に通園した場合と同等に多子世帯の保護者に対し、負担軽減を図ることができる。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	普通	多子世帯の保護者に対し、保育料の負担を軽減することにより施策に貢献している。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も継続して実施する。					

会計名			チビッコ甲冑行列開催事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	3						保育園係		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	保育・幼児教育の充実							
	目的	刈谷城が築城された1533年（戦国時代）当時の時代背景や出来事、刈谷城に対する考え方や歴代藩主によるまちづくりなどに思いを巡らせ、未来を担う子ども達が先人の知恵や生き方を学ぶことにより、刈谷市の未来を紡ぎ出す。	主たる内容	市内公私立保育園の5歳児を対象に、ダンボール（厚紙）製の甲冑を製作してもらう。製作後は、記念写真の撮影や地域の行事に参加し、運動会、生活発表会などで活用する。						
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画							
		根拠法令								
	対象者	保育園児	事業期間	平成25年度～						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実績	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		・甲冑作製（12園） ・甲冑行列（1回）（12園） ※「刈谷城築城480年記念事業」にて実施		・甲冑作製（13園） ・各園行事実施（延べ26回）		・甲冑作製（14園） ・各園行事実施（延べ28回） ・65周年記念事業として、亀城公園にてチビッコ甲冑行列（1回）（14園）		・甲冑作製（14園） ・各園行事実施（延べ28回）		
成果		亀城公園にてチビッコ甲冑行列を開催することで刈谷城築城当時の歴史を学び、また5歳児全員で行列することで仲間と一緒にやることの喜びを伝えることができた。 また、園によっては運動会や地域の行事に参加したり、デイサービス訪問、老人ホーム訪問など、2回以上行事で着用することができた。								
課題		子どもたちが甲冑製作や甲冑を着用して行事に参加する際に、刈谷城についてや先人の知恵について話を聞くことで、刈谷の歴史について興味が広がると思われるため、甲冑を着て歴史に触れる機会をさらに増やしていく。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標		実施回数（回）		1	26	29	28	28		
指標										
他市との比較検証		_____								
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		888	367	1,214	700	合計	1,213,742 円		
	財源	特定財源	330	367	500	350	需用費	836,799 円		
		一般財源	558	0	714	350	委託料	329,796 円		
	職員人件費 ②		0	1,091	1,998	1,255	使用料及び賃借料	47,147 円		
	総事業費（①+②）		888	1,458	3,212	1,955				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0		児童福祉事業費寄付金				
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			チビッコ甲冑行列開催事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
3	2	3			保育園係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	甲冑製作をしながら、刈谷の歴史についての話をすることで、刈谷や地区の歴史にふれることができる。また、自分自身で甲冑を作ることで製作を楽しむ機会となっている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	寄付金を活用することで事業費を抑制することができる。また、当該事業を実施することで、各園と地区の住人が連携して地域に根ざした活動ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷市内の全5歳児が一つの行事を行い、刈谷市の歴史や文化を学ぶ事を通して、刈谷市に愛着を持てる子どもを増やすことができるため、市が主体となって実施していくことが望ましい事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	試したり工夫したりして製作する力が育まれ、教育の充実に貢献している。また、甲冑を着用して行事に参加することで、地域交流にも貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
毎年5歳児が甲冑製作を通して、刈谷や地区の歴史にふれることができるように、課題を改善しながら引き続き実施していく。					

会計名 一般会計			チビッコ甲冑行列開催事業				担当部	次世代育成部			
款	項	目					担当課	子ども課			
10	4	1					担当係	施設係			
							幼稚園係				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	次世代育成・子育て支援								
		施策の内容	保育・幼児教育の充実								
	目的	刈谷城が築城された1533年（戦国時代）当時の時代背景や出来事、刈谷城に対する考え方や歴代藩主によるまちづくりなどに思いを巡らせ、未来を担う子ども達が先人の知恵や生き方を学ぶことにより、刈谷市の未来を紡ぎ出す。			主たる内容	市内公立幼稚園の5歳児を対象に、ダンボール（厚紙）製の甲冑を親子で製作する。製作後は、記念写真の撮影や運動会、生活発表会などで活用する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画								
		根拠法令									
		対象者	幼稚園児		事業期間	平成25年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画			
		・甲冑作製（16園） ・甲冑行列（年1回）（16園） ※「刈谷城築城480年記念事業」にて実施		・甲冑作製（16園） ・各園行事実施（延べ28回）		・甲冑作製（16園） ・各園行事実施（延べ32回） ・65周年記念事業として、亀城公園にてチビッコ甲冑行列（1回）（16園）		・甲冑作製（16園） ・各園行事実施（延べ32回）			
成果		亀城公園にてチビッコ甲冑行列を開催することで刈谷城築城当時の歴史を学び、また5歳児全員で行列することで仲間と一緒にやることの喜びを伝えることができた。 甲冑作成をすることで、親子で刈谷市の歴史に触れ水野勝成についても学ぶことができた。									
課題		子どもたちが甲冑製作や甲冑を着用して行事に参加する際に、刈谷城についてや先人の知恵について話を聞くことで、刈谷の歴史について興味が広がると思われるため、甲冑を着て歴史に触れる機会をさらに増やしていく。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標		実施回数（回）			1	28	33	32	32		
指標											
他市との比較検証		_____									
C 事業コスト 建設事業		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①		1,803	616	2,433	1,000	合計 2,432,879 円				
	財源	特定財源	670	616	1,000	650	需用費 1,678,994 円				
		一般財源	1,133	0	1,433	350	委託料 659,592 円				
	職員人件費②		0	704	1,763	1,255	使用料及び賃借料 94,293 円				
	総事業費（①+②）		1,803	1,320	4,196	2,255					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称					
		27年度までの累積事業費		0		児童福祉事業費寄付金					
29年度以降の事業費見込		0									

会計名			チビッコ甲冑行列開催事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
10	4	1			幼稚園係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	甲冑製作をしながら、刈谷の歴史についての話をすることで、刈谷や地区の歴史にふれることができる。また、自分自身で甲冑を作ることで製作を楽しむ機会となっている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	寄付金を活用することで事業費を抑制することができる。また、当該事業を実施することで、各園と地区の住人が連携して地域に根ざした活動ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷市内の全5歳児が一つの行事を行い、刈谷市の歴史や文化を学ぶ事を通して、刈谷市に愛着を持てる子どもを増やすことができるため、市が主体となって実施していくことが望ましい事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	試したり工夫したりして製作する力が育まれ、教育の充実に貢献している。また、甲冑を着用して行事に参加することで、地域交流にも貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
毎年5歳児が甲冑製作を通して、刈谷や地区の歴史にふれることができるように、課題を改善しながら引き続き実施していく。					

会計名			民間保育所運営支援事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	2	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実							
	目的	家庭内保育に欠ける児童の保育を民間の認可保育所に委託し、保育に係る費用を委託料又は補助金として交付することで、職員の処遇向上や施設の運営改善等保育環境の向上を図る。	主たる内容	○認可民間保育所への運営委託 ○認可民間保育所への運営補助 ・人件費 ・管理費 ・整備費 ・嘱託医報酬 ・一時保育促進事業 ・保育所用地等補助						
	位置づけ	関連計画		刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令								
		対象者	民間保育施設	事業期間	～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	DO 実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		・保育に係る運営委託 ・運営補助 ・親愛の里保育園移転新築補助		・保育に係る運営委託 ・運営補助 ・刈谷ゆめの樹保育園建設補助		・保育に係る運営委託 ・運営補助 ・こぐま保育園増築補助等		・保育に係る運営委託 ・運営補助 ・（仮称）空のうさぎ保育園建設補助		
成果		民間保育園に委託や補助をすることで安定した運営を続けることができた。								
課題		安心こども基金、保育対策等促進事業費補助金等の国県補助内容の動向に注意が必要である。また、民間保育園運営に対する株式会社の参入も見込まれており、補助対象、内容等については今後精査する必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標		委託保育園数（園）		3	3	4	4	5		
成果指標		待機児童数（人） （実績値は各年度4月1日現在）		4	6	8	0	0		
他市との比較検証		運営費補助を行っている市・・・碧南市、安城市、知立市、西尾市 運営補助を行っていない市・・・高浜市								
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		498,314	750,105	607,719	876,045	合計	607,718,629 円		
	財源	特定財源	251,541	428,148	324,369	440,369	委託料	465,692,220 円		
		一般財源	246,773	321,957	283,350	435,676	負担金、補助及び交付金	142,026,409 円		
	職員人件費 ②		1,753	1,760	2,350	3,042				
	総事業費（①+②）		500,067	751,865	610,069	879,087				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		子ども・子育て支援交付金、施設型教育・保育給付費等負担金、子育て支援対策基金事業費補助金						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			民間保育所運営支援事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	管理係
3	2	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	民間保育園の事業・建設に対して補助を行うことにより、保育環境の充実化や待機児童解消に向けての対応が図られているので、必要性の高い事業と言える。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	市に必要な保育園の建設や運営の一部を民間園が行うことで、待機児童への早急かつ効率的な対応ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	民間保育園の事業や保育環境を充実するために市の関与が妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	刈谷市内の民間保育園の整備、充実に寄与している。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も民間保育園の整備・運営等に支援や補助を行い、職員の処遇向上や保育環境の向上、待機児童の解消を図る。					

会計名			園舎改修事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実							
	目的	昭和40年代後半から順次建築され、老朽化してきている保育園の園舎等を比較的大規模に改修することにより、良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。			主たる内容	○老朽化した保育園園舎、施設等の改修 ○保育園園舎、施設等の延命化のための予防的な保全				
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画							
		根拠法令								
		対象者	保育園児、保護者			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		・慈友保育園外壁塗装改修工事 ・日高保育園外壁塗装改修工事 ・双葉保育園屋根防水工事 ・双葉保育園調理室排水改修工事		・東刈谷保育園屋上防水改修工事 ・日高保育園保育室床改修工事 ・東刈谷保育園保育室木製建具取替工事		・日高保育園大規模改修工事設計委託 ・双葉保育園ダムウェーター改修工事 ・東刈谷保育園ダムウェーター改修工事 ・双葉保育園遊戯室パーティション設置工事		・日高保育園仮設園舎設計業務委託 ・あおば保育園2歳児おむつロッカー取替工事 ・おがきえ保育園2階バルコニー床長尺シート張工事		
成果		老朽化した園舎、施設等を改修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。								
課題		本事業は主に園舎、施設等の大規模な改修を行うものであるが、近年、施設等の老朽化が激しく、改修箇所は増加してきている。今後は、単年度に経費が集中しないよう、公共施設維持保全計画に基づき、改修計画を策定する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		屋上防水工事実績数（園）			1	1	—	—	2	
活動指標		外壁改修工事実績数（園）			2	0	—	—	2	
他市との比較検証		近隣市においても、施設保全計画に基づいて事業を実施しているが、計画のあり方は市によって異なり、当市では長寿命化に重点を置いている。								
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		23,172	11,275	15,654	3,403	合計	15,653,520 円		
	財源	特定財源	0	0	3,000	0	委託料	5,508,000 円		
		一般財源	23,172	11,275	12,654	3,403	工事請負費	10,145,520 円		
	職員人件費 ②		351	352	705	684				
	総事業費（①+②）		23,523	11,627	16,359	4,087				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰入金						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			園舎改修事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
3	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	良好な保育環境を提供するために必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	単年度に経費が集中しないように計画的な執行が必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	老朽化してきた施設を改修し、保育環境を向上させる事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	保育園の整備・充実に寄与している。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
刈谷市全体の公共施設を計画的に維持・保全し効率的に運営する手法としてファシリティマネジメント（FM）の概念を導入し、将来の維持・保全費用の推計結果及び公共施設の現況調査結果をもとに、今後の最も望ましい施設運用のあり方を示す「刈谷市公共施設維持保全計画」を平成24年に策定した。 今後は、計画の進行管理を行いながら、それぞれの施設を時代に即した最適な状態に保っていくと同時に、ライフサイクルコストの削減や建替え、大規模改修工事などの将来負担費用の平準化に向けた取組みを実施し、施設の性質などを考慮しての保全に係る優先順位を定め、適正な施設管理に努める。					

会計名		園舎改修事業				担当部	次世代育成部		
一般会計						担当課	子ども課		
款	項					目	担当係	施設係	
10	4	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実						
	目的	昭和40年代前半から順次建築され、老朽化している幼稚園の園舎等を比較的大規模に改修することにより、良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。			主たる内容	○老朽化した幼稚園園舎、施設等の改修 ○幼稚園園舎、施設等の延命化のための予防保全			
	位置づけ	関連計画 刈谷市子ども・子育て支援事業計画							
	根拠法令								
	対象者	幼稚園児、保護者			事業期間	～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・住吉幼稚園遊戯室棟屋上防水改修工事 ・富士松北幼稚園目地シール打替工事 ・小高原幼稚園ほか3園網戸設置工事		・小高原幼稚園屋上防水工事 ・衣浦幼稚園屋上防水工事 ・井ヶ谷幼稚園屋上防水工事 ・井ヶ谷幼稚園外壁改修工事		・東刈谷幼稚園大規模改造の設計 ・双葉幼稚園大規模改造の設計 ・小垣江幼稚園大規模改造の設計 ・刈谷幼稚園屋上防水工事 ・富士松北幼稚園網戸設置 ・富士松北幼稚園他2園遊戯室耐震天井改修工事		・井ヶ谷幼稚園大規模改造の設計 ・かりがね幼稚園外壁改修工事	
成果		老朽化した園舎、施設等を改修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。							
課題		本事業は主に園舎、施設等の大規模な改修を行うものであるが、近年、施設等の老朽化が激しく、改修箇所は増加してきている。今後は、単年度に経費が集中しないよう、公共施設維持保全計画に基づき、改修計画を策定する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		大規模改造設計（園）			0	1	3	1	1
成果指標		屋上防水工事（園）			1	3	2	1	2
他市との比較検証		近隣市においても、施設保全計画に基づいて事業を実施しているが、計画のあり方は市によって異なり、当市では長寿命化に重点を置いている。							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		8,526	36,256	69,216	36,136	合計	69,215,970 円	
	財源	特定財源	0	0	19,186	8,063	委託料	13,778,640 円	
		一般財源	8,526	36,256	50,030	28,073	工事請負費	55,437,330 円	
	職員人件費 ②		351	493	705	684			
	総事業費（①+②）		8,877	36,749	69,921	36,820			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		・学校施設環境改善交付金 ・公共施設維持保全基金繰入金					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			園舎改修事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	良好な保育環境を提供するために必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	単年度に経費が集中しないように計画的な執行が必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	老朽化してきた施設を改修し、保育環境を向上させる事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	幼稚園の整備・充実に寄与している。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
刈谷市全体の公共施設を計画的に維持・保全し効率的に運営する手法としてファシリティマネジメント（FM）の概念を導入し、将来の維持・保全費用の推計結果及び公共施設の現況調査結果をもとに、今後の最も望ましい施設運用のあり方を示す「刈谷市公共施設維持保全計画」を平成24年に策定した。 今後は、計画の進行管理を行いながら、それぞれの施設を時代に即した最適な状態に保っていくと同時に、ライフサイクルコストの削減や建替え、大規模改修工事などの将来負担費用の平準化に向けた取組みを実施し、施設の性質などを考慮しての保全に係る優先順位を定め、適正な施設管理に努める。					

会計名 一般会計			設備等改修事業				担当部	次世代育成部	
款	項	目					担当課	子ども課	
10	4	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実						
	目的	幼稚園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。	主たる内容	○老朽化した幼稚園設備の改修 ○幼稚園設備の延命化のための予防的な保全					
	位置づけ	関連計画		刈谷市子ども・子育て支援事業計画					
		根拠法令							
		対象者	幼稚園児、保護者	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・双葉幼稚園2階保育室照明器具取替 ・刈谷幼稚園他15園通話対策 ・双葉幼稚園防犯カメラ取替増設 ・平成幼稚園他1園防犯カメラ増設		・幼稚園遊戯室ステージ照明器具増設 ・富士松北幼稚園遊戯室照明増設 ・幼稚園監視カメラ更新		・小高原幼稚園保育室照明取替 ・重原幼稚園保育室照明取替 ・小垣江幼稚園監視カメラ更新 ・富士松南幼稚園防犯カメラ増設 ・かりがね幼稚園便器取替等 ・平成幼稚園便器取替等		・富士松南幼稚園照明器具取替工事 ・富士松南幼稚園便器取替等 ・刈谷幼稚園便器取替等 ・衣浦幼稚園便器取替等 ・小高原幼稚園インターホン取替	
成果		老朽化した設備を改修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に設備を保全し、設備の延命化を図ることができた。							
課題		ガス管、給水管、冷暖房設備等の老朽化により、改修箇所は増加している。今後は、単年度に経費が集中しないよう、公共施設維持保全計画に基づき、改修計画を策定する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標	改修箇所数（箇所）		19	17	14	10	10		
指標									
他市との比較検証	近隣市においても、施設保全計画に基づいて事業を実施しているが、計画のあり方は市によって異なり、当市では長寿命化に重点を置いている。								
C 事業コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,292	5,316	18,425	13,000	合計	18,424,800 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	18,424,800 円	
		一般財源	2,292	5,316	18,425	13,000			
	職員人件費 ②		351	493	705	684			
	総事業費（①+②）		2,643	5,809	19,130	13,684			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		_____					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			設備等改修事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	良好な保育環境を提供するために必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	単年度に経費が集中しないように、定期点検、保守点検を実施し、設備の延命化を図るとともに、計画的な執行が必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	老朽化した設備を改修し、保育環境を向上させる事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	幼稚園の整備・充実に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後は、刈谷市公共施設維持保全計画に基づき、計画の進行管理を行いながら、それぞれの設備を時代に即した最適な状態に保っていくと同時に、定期点検、保守点検を重点的に行い、設備の延命化に努める。 また、将来負担費用の平準化に向けた取組みを実施し、設備の性質などを考慮しての保全に係る優先順位を定め、適正な設備管理に努める。					

会計名			設備等改修事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	3								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実							
	目的	保育園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。	主たる内容	○老朽化した保育園設備の改修 ○保育園設備の延命化のための予防的な保全						
	位置づけ	関連計画		刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
			根拠法令							
		対象者	保育園児、保護者			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業 D実績 O実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 双葉保育園照明器具取替 日高保育園屋外空調機更新 双葉保育園空調室内機更新 あおば保育園他1園緊急地震情報接続 		<ul style="list-style-type: none"> かりがね保育園空調設備更新 日高保育園ダムウェーター更新 かりがね保育園照明取替 慈友保育園照明器具取替 保育園監視カメラ更新 配膳室建具改修 音響システム改修 		<ul style="list-style-type: none"> おがきえ保育園汚下水切替 双葉保育園防犯カメラ設置 かりがね保育園便器取替等 さくら保育園便器取替等 東刈谷保育園ガス配管改修 富士松北保育園ガス配管改修 		<ul style="list-style-type: none"> 慈友保育園他4園電話機取替 慈友保育園換気扇取替 東刈谷保育園前室空調機設置 東刈谷保育園便器取替等 おがきえ保育園便器取替等 		
成果		老朽化した設備を改修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。								
課題		ガス管、給水管、冷暖房設備などの老朽化により、改修箇所は増加している。今後は、単年度に経費が集中しないよう、公共施設維持保全計画に基づき、改修計画を策定する必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標	改修箇所数（箇所）				6	9	6	9	7	
指標	_____									
他市との比較検証	近隣市においても、施設保全計画に基づいて事業を実施しているが、計画のあり方は市によって異なり、当市では長寿命化に重点を置いている。									
C事業 コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		23,353	48,638	8,852	14,000	合計	8,852,328 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	8,852,328 円		
		一般財源	23,353	48,638	8,852	14,000				
	職員人件費 ②		351	563	705	684				
	総事業費（①+②）		23,704	49,201	9,557	14,684				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費			0	_____						
29年度以降の事業費見込			0							

会計名			設備等改修事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
3	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	良好な保育環境を提供するために必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	単年度に経費が集中しないように、定期点検、保守点検を実施し、設備の延命化を図るとともに、計画的な執行が必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	老朽化した設備を改修し、保育環境を向上させる事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	保育園の整備・充実に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後は、刈谷市公共施設維持保全計画に基づき、計画の進行管理を行いながら、それぞれの設備を時代に即した最適な状態に保っていくと同時に、定期点検、保守点検を重点的に行い、設備の延命化に努める。 また、将来負担費用の平準化に向けた取組みを実施し、設備の性質などを考慮しての保全に係る優先順位を定め、適正な設備管理に努める。					

会計名 一般会計			園舎改築事業				担当部	次世代育成部	
款	項	目					担当課	子ども課	
3	2	3					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実						
	目的	築40年以上経過して老朽化した保育施設について、建設用地を生かし、園の運営に支障なく改築を行うことで、保育園の良好な保育環境の維持を図る。			主たる内容		老朽化した保育園園舎改築等の設計		
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令							
		対象者	保育園児・保護者			事業期間	平成25年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		富士松南保育園園舎改築の設計業務委託		さくら保育園園舎改築の設計業務委託		富士松北保育園園舎移転新築の設計業務委託		※「富士松北保育園園舎改築事業」にて実施	
成果		富士松南保育園の改築は、北側園庭に収まるように計画することでコストを抑えることができ、老朽化の進んだ園舎を、ゆとりある良好な保育環境に改善する設計ができた。さくら保育園は近隣の公園用地に園舎の改築をすることで、運営しながら工事を行うことができる計画を立てることができた。富士松北保育園は西側園庭に収まるように計画することで富士松南保育園同様コストを抑えることができ、また既設園舎側に開放的な園庭と駐車場を計画することができた。							
課題		富士松南保育園および富士松北保育園は園庭が利用できない期間があり、園の運営に多少支障が生じる計画となった。							
O 実績 V	指標名称（単位）				実績値			目標値	
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度
	成果指標	設計で可能となった定員数の増分(人)			30	75	20	—	—
他市との比較検証	近隣市においても、施設保全計画に基づいて事業を実施しているが、計画のあり方は市によって異なり、当市では長寿命化に重点を置いている。								
C 事業コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		15,960	15,218	19,967	0	合計	19,967,040 円	
	財源	特定財源	0	0	19,000	0	委託料	19,967,040 円	
		一般財源	15,960	15,218	967	0			
	職員人件費 ②		351	352	783	0			
	総事業費（①+②）		16,311	15,570	20,750	0			
建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	27年度特定財源名称				
	27年度までの累積事業費			0	公共施設維持保全基金繰入金				
	29年度以降の事業費見込			0					

会計名			園舎改築事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
3	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	良好な保育環境を提供するために、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	既存の敷地内に計画することで土地を取得する必要がなく、大規模な改修のための園運営への影響を防ぐことができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	老朽化していた施設を建替えて保育環境を向上させる事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	保育園の整備・充実に寄与している。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		
	刈谷市全体の公共施設を計画的に維持・保全し効率的に運営する手法としてファシリティマネジメント（FM）の概念を導入し、将来の維持・保全費用の推計結果及び公共施設の現況調査結果をもとに、今後の最も望ましい施設運用のあり方を示す「刈谷市公共施設維持保全計画」を平成24年に策定した。 今後は、計画の進行管理を行いながら、それぞれの施設を時代に即した最適な状態に保っていくと同時に、ライフサイクルコストの削減や建替え、大規模改修工事などの将来負担費用の平準化に向けた取組みを実施し、施設の性質などを考慮しての保全に係る優先順位を定め、適正な施設管理に努める。 H28年度においては、「富士松北保育園園舎改築事業」にて実施。				

会計名 一般会計			日高幼稚園大規模改造事業				担当部	次世代育成部			
款	項	目					担当課	子ども課			
10	4	1					担当係	施設係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	次世代育成・子育て支援								
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実								
	目的	幼稚園の園舎は、昭和40年代前半から順次建築されており、経年劣化による老朽化から破損等が各所に見られるため、園の運営に配慮しながら、大規模な改造工事による施設の保全及び教育・保育環境の改善を図る。				主たる内容	○幼稚園大規模改造工事の設計 ○日高幼稚園大規模改造工事				
	位置づけ	関連計画 刈谷市子ども・子育て支援事業計画 根拠法令									
	対象者	幼稚園児、保護者			事業期間	平成26年度～平成27年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画			
				大規模改造工事設計委託		大規模改造工事の実施					
		成果	老朽化による建物の損耗や機能低下の復旧を目的とした幼稚園園舎の大規模改造工事を実施し、良好な保育環境への改善ができた。								
課題		コストを抑えた計画になったが、夏休みに集中的に工事を行ったため、夏休みの園の運営などに少なからずも支障が生じた。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標		大規模改造実施棟数（棟）			—	—	1	—	—		
指標											
他市との比較検証		近隣市においても、施設保全計画に基づいて事業を実施しているが、計画のあり方は市によって異なり、当市では長寿命化に重点を置いている。									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①		0	5,184	254,305	0	合計	254,305,454 円			
	財源	特定財源	0	0	238,243	0	需用費	1,992,290 円			
		一般財源	0	5,184	16,062	0	工事請負費	251,029,476 円			
	職員人件費②		0	352	1,097	0	備品購入費	1,283,688 円			
	総事業費（①+②）		0	5,536	255,402	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称					
27年度までの累積事業費		0		・学校施設環境改善交付金 ・公共施設維持保全基金繰入金							
29年度以降の事業費見込		0		・園舎改修事業債							

会計名			日高幼稚園大規模改造事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	良好な教育・保育環境を提供するために、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	夏休みに集中的に工事を行なうことで、仮設園舎の準備をすることなくコストを抑え、園の運営に配慮できた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	老朽化していた施設を改修して教育・保育環境を向上させる事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	幼稚園の整備・充実に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
事業完了に伴い廃止。					

会計名			富士松南保育園園舎改築事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実						
	目的	富士松南保育園園舎は築40年が経過し、老朽化が進んでいるため、園舎を改築し、良好な保育環境の維持を図る。	主たる内容	○園舎の改築 ・施工箇所：富士松南保育園北側園庭 ・構造規模：鉄筋コンクリート2階建て ・延べ床面積：1,622㎡ ・その他：外構工事、保育用備品整備					
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令							
		対象者	保育園児、保護者	事業期間	平成26年度～平成27年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		_____		・新園舎建築 ・備品及び消耗品整備		・既設園舎解体工事 ・園庭整備工事 ・駐車場整備工事		_____	
成果		新園舎建築、備品・消耗品の整備及び園庭の整備により、保育環境の改善を図ることができた。 雨天時でも園児が元気に遊べるよう園社2階に広大なスペースを確保した。 改築時に園児が工事現場を見学し、ものづくりを体感させることができた。							
課題		園庭が利用できない期間があり、園の運営に多少支障が生じた。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		施設整備率（％）		—	79.0	100.0	—	—	
成果指標		定員（人）		130	160	160	—	—	
他市との比較検証		近隣市においても、施設保全計画に基づいて事業を実施しているが、計画のあり方は市によって異なり、当市では長寿命化に重点を置いている。							
C 事業コスト		単位：千円	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①	0	507,162	99,675	0	合計	99,675,360 円		
	財源	特定財源	0	240,000	72,000	0	工事請負費	99,675,360 円	
		一般財源	0	267,162	27,675	0			
		職員人件費 ②	0	704	627	0			
		総事業費（①+②）	0	507,866	100,302	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		603,891	27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		603,891	公共施設維持保全基金繰入金						
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			富士松南保育園園舎改築事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
3	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	良好な保育環境を提供するために、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	建替えることにより、老朽部分による危険性の減少や修繕費用が不要となり、床面積を拡大することで定員を増やすことができた上で、快適な保育環境が提供できた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	園を運営しながら安全に工事を進行する上で、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	保育園の整備・充実に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
事業完了に伴い廃止。					

会計名			さくら保育園園舎移転新築事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実							
	目的	待機児童が発生している状況を緩和させるとともに、良好な保育環境の改善を図る。	主たる内容	築41年が経過し老朽化した園舎について、現状の狭小な敷地での建替えが困難であるため、神田公園に移転新築し、定員を130人から160人に拡大する。 ※待機児童対策として、一時的に現園舎を活用し3歳未満児45人を受け入れる。						
	位置づけ	関連計画		刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令								
		対象者	保育園児、保護者	事業期間	平成27年度～平成27年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		_____		_____		・神田公園遊具取壊し工事 ・南園舎建築工事 ・園庭整備工事 ・駐車場整備工事 ・備品及び消耗品整備		_____		
成果		新園舎建築、備品及び消耗品の整備により保育環境の改善を図ることができた。また、定員の拡大により待機児童が発生している状況を緩和することができた。								
課題		新園舎開園までの準備期間が短く、園運営の負担となった。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標	施設整備率（％）		—	—	100.0	—	—			
成果指標	定員（人）		130	130	205	—	—			
他市との比較検証	_____									
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①		0	0	765,048	0	合計	765,047,668円		
	財源	特定財源	0	0	732,000	0	需用費	9,665,271円		
		一般財源	0	0	33,048	0	役務費	733,320円		
	職員人件費②		0	0	1,175	0	工事請負費	735,848,280円		
	総事業費（①+②）		0	0	766,223	0	備品購入費	17,973,085円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金、公共施設維持保全基金繰入金						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			さくら保育園園舎移転新築事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
3	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	良好な保育環境を提供するために、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	建替えることにより、老朽部分による危険性の減少や修繕費用が不要となり、床面積を拡大することで定員を増やすことができた上で、快適な保育環境が提供できた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	園を運営しながら安全に工事を進行する上で、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	保育園の整備・充実に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
事業完了に伴い廃止。					

会計名			園児健康診断事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	幼稚園係	
10	4	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	健康診断の環境を整えることにより、園児の健康維持、向上を図る。			主たる内容	健康診断器具の購入、滅菌を委託する。			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	幼稚園		事業期間	平成24年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
健康診断器具の購入 健康診断器具滅菌委託		健康診断器具の購入 健康診断器具滅菌委託		健康診断器具の購入 健康診断器具滅菌委託		健康診断器具の購入 健康診断器具滅菌委託			
成果		健康診断器具の購入及び滅菌委託により、園児の健康診断の環境を整えることができた。							
課題		各園の園児数の変化に対応するため、器具の保有数の管理が必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		内科検診回数（回）		16	16	16	16	16	
活動指標		歯科検診回数（回）		32	32	32	32	32	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		637	346	352	553	合計	352,402円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	79,832円	
		一般財源	637	346	352	553	委託料	272,570円	
	職員人件費②		351	352	392	380			
	総事業費（①+②）		988	698	744	933			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			認可外保育所運営支援事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	2	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	家庭内保育に欠ける3歳未満児の保育を認可外保育施設に委託し、保育環境の向上を図る。			主たる内容	一定の基準に適合する認可外保育施設と委託契約し、家庭内保育に欠ける児童の保育を委託する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	認可外保育施設	事業期間	平成9年度 ~				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		委託契約 15施設 延べ委託児童数1,624人		委託契約 12施設 延べ委託児童数1,951人		委託契約 10施設 延べ委託児童数2,404人		委託契約 10施設 延べ委託児童数2,600人	
成果		平成27年度は市内、市外あわせて10の認可外保育施設と委託契約を結び、2,404人の児童を保育することが出来た。							
課題		年度当初だけでなく、年度途中の入園相談時にも認可保育園に入園できず、認可外保育施設を紹介する事も多く、ニーズも多いため効果は大きい。ただし、委託料は利用者ではなく、認可外保育施設に対して月額1名あたり12,400円支払われるものなので、利用者への還元方法が課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		認可外保育所委託契約実績数（施設）			15	12	10	10	10
成果指標		延べ委託児童数（人）			1,624	1,951	2,404	2,600	2,000
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		22,554	24,836	30,493	51,311	合計	30,492,655 円	
	財源	特定財源	140	793	141	14,277	委託料	29,809,600 円	
		一般財源	22,414	24,043	30,352	37,034	負担金、補助及び交付金	683,055 円	
	職員人件費 ②		1,052	1,056	1,175	1,141			
	総事業費（①+②）		23,606	25,892	31,668	52,452			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		保育対策総合支援事業費補助金					
29年度以降の事業費見込		0		認可外保育施設衛生安全対策事業費補助金					

会計名			給食運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	発達段階に応じた給食を提供し、栄養補給と心身の健全育成を目指し、円滑な保育園の給食運営を行う。			主たる内容	臨時調理員の賃金、給食担当者研修会消耗品、保育園の賄材料費等を支払い、給食運営を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	保育園児または給食担当職員	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		給食担当者会の実施 給食担当者研修会の実施		給食献立検討会の実施 給食担当者研修会の実施 給食用食器の補充		給食献立検討会の実施 給食担当者研修会の実施 給食用食器の補充		給食献立検討会の実施 給食担当者研修会の実施 給食用食器の補充	
成果		給食担当者研修会にてアレルギー児の対応について講義を受けたことにより、調理員への意識向上したこと、また新メニューへの取り入れを行った。給食担当者会では、昨年度からの反省や現在の状況に合わせて給食の提供ができるように努めた。							
課題		アレルギー児の増加や、乳児枠拡大に伴う0歳児の入所増加により、今後もアレルギー食、離乳食等の個々に応じた給食の正確な提供が必要となると思われる。また、別メニューの調理に伴う賄い材料費の増加や、野菜等の食材の不足、費用の高騰など天候等に左右されない安定した仕入れの確保が必要となる。また、定員枠拡大に伴う園児分の食器や破損した食器の補充が必要となると思われる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		給食用食器の更新率（％）		100	100	100	100	100	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		109,840	114,944	119,353	126,428	合計	119,353,480 円	
	財源	特定財源	11,661	11,594	11,820	15,934	賃金	2,207,618 円	
		一般財源	98,179	103,350	107,533	110,494	需用費	116,999,942 円	
	職員人件費 ②		1,753	1,760	1,959	1,901	委託料	129,600 円	
	総事業費（①+②）		111,593	116,704	121,312	128,329	使用料及び賃借料	16,320 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0		給食費徴収金 資源売却収入			
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			給食調理業務委託事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	給食調理業務は、少人数職種で勤務体制を編成しにくい状況のため、給食調理業務を委託し経費等の効率化を図る。			主たる内容	富士松南、富士松北、双葉、さくら、日高、東刈谷、かりがねの7保育園の給食業務を委託する。			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	事業者		事業期間	平成11年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
給食調理業務委託（富士松南、富士松北、双葉、さくら、日高、東刈谷、かりがね保育園）		給食調理業務委託（富士松南、富士松北、双葉、さくら、日高、東刈谷、かりがね保育園）		給食調理業務委託（富士松南、富士松北、双葉、さくら、日高、東刈谷、かりがね保育園）		給食調理業務委託（富士松南、富士松北、双葉、さくら、日高、東刈谷、かりがね保育園）			
成果		直営の場合は、急な体調不良や忌引き等による調理員の欠員などに臨機応変な対応が必要となるが、委託の場合は確実な人員配置ができています。							
課題		アレルギー食や離乳食など細かい対応への依頼が増加していることから、今後もさらなる連携が必要となる。また、受託者側の賃金の増加に伴う委託料の増加が見込まれる。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		給食業務の委託割合（％）			87	87	87	87	87
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		51,101	51,234	51,234	64,368	合計	51,234,120円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	51,234,120円	
		一般財源	51,101	51,234	51,234	64,368			
	職員人件費②		1,753	1,760	1,959	1,901			
	総事業費（①+②）		52,854	52,994	53,193	66,269			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			保育園管理事業				担当部	次世代育成部			
款	項	目					担当課	子ども課			
3	2	3					担当係	施設係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	次世代育成・子育て支援								
		施策の内容	保育・幼児教育の充実								
	目的	公設公営保育園の円滑な維持管理を行うため、施設設備の保全に努め、保育園児の快適な生活環境を維持する。			主たる内容	光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等、円滑に保育園を維持管理する。					
	位置づけ	関連計画									
		根拠法令									
		対象者	保育園児			事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画			
		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に保育園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に保育園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に保育園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に保育園を維持管理する。			
成果		円滑に保育園を管理することができた。									
課題		今後も園児の快適な生活環境を維持するよう努めていく必要がある。また、燃料費の高騰、夏季の高温化に伴う光熱水費、樹木の高木化による剪定委託料、施設・設備の老朽化による修繕料等の増加が予想され、保育園を管理するための予算の増額が必要である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
指標											
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		56,103	57,471	58,585	71,582	合計	58,584,567 円			
	財源	特定財源	7	7	7	6	需用費	34,043,783 円			
		一般財源	56,096	57,464	58,578	71,576	役務費	1,370,505 円			
	職員人件費 ②		1,753	1,197	3,290	3,878	委託料	10,458,282 円			
	総事業費（①+②）		57,856	58,668	61,875	75,460	使用料及び賃借料	12,711,997 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称					
		27年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
29年度以降の事業費見込		0									

会計名			公立保育所管理運営委託事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	おがきえ保育園とあおば保育園の管理運営を指定管理者に委託し、さまざまな保育ニーズに対応し保育環境の向上を図る。			主たる内容	通常保育及び、延長保育、休日保育、一時保育の業務を委託する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	公設民営保育所	事業期間	平成17年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		おがきえ保育園 あおば保育園		おがきえ保育園 あおば保育園		おがきえ保育園 あおば保育園		おがきえ保育園 あおば保育園	
成果		延長保育、休日保育、一時保育など多くの保育サービスが実施できた。							
課題		市内認可保育園の中でも、おがきえ保育園、あおば保育園を希望する声は多くあることから、満足度の高さを分析し、他園においても満足度を高めるサービスを検討することが課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
成果指標		保護者満足度（％）			86.3	85.1	87.3	88	90
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		319,516	314,924	339,004	348,660	合計	339,004,184 円	
	財源	特定財源	94,990	95,652	88,083	94,395	需用費	57,024 円	
		一般財源	224,526	219,272	250,921	254,265	委託料	338,947,160 円	
	職員人件費 ②		1,052	1,056	1,175	760			
	総事業費（①+②）		320,568	315,980	340,179	349,420			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		公立保育所保護者負担金 一時保育利用負担金					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			給食衛生管理対策事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	保育園の給食調理業務及び給食配膳業務が衛生的に行われるよう環境を改善し、園児に対し、安全で衛生的な給食を提供するために必要となる厨房機器の整備や配膳用物品等を整備する。		主たる内容	保育園調理室で使用する消毒液や手袋、マスク等の消耗品や厨房機器の老朽化により機能が低下して支障をきたしている備品等を更新する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	保育園児	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		回転釜の更新 （富士松北保育園） 食器洗浄機 （かりがね保育園） スチームコンベクションオーブン （かりがね保育園） 食器消毒保管庫 （かりがね保育園）		手洗い機の修繕 （双葉保育園他3園） 厨房機器年間保守委託 （富士松北保育園他5園） 回転釜の更新 （日高保育園） 食器消毒保管庫の更新 （富士松北、かりがね保育園）		厨房機器年間保守委託 （富士松北保育園他6園） 食器消毒保管庫 （日高保育園） 製氷機 （富士松北保育園） 冷凍冷蔵庫 （双葉、日高保育園） プラストチラー （双葉保育園）		厨房機器年間保守委託 （富士松南保育園他7園） 食器洗浄機 （双葉、東刈谷保育園） 食器消毒保管庫 （双葉保育園） 製氷機 （双葉、かりがね、東刈谷保育園） プラストチラー	
成果		計画に基づき、消耗品の購入や厨房機器の更新を行った。							
課題		日々の衛生対策の徹底によって食中毒等の発生を未然に防ぐことに努めているが、食数の増加による調理スペースの確保や、アレルギー食、離乳食に対応する必要備品の増加が見込まれる。また、老朽化に伴う厨房機器の更新や時代に合った調理機器の購入も随時必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		プラストチラーの導入率（％）		0	25	50	75	100	
活動指標		食器洗浄機の導入率（％）		12.5	37.5	50	87.5	100	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度 （決算）	26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （予算）	27年度 事業費内訳	
	事業費 ①		8,094	7,396	6,349	12,536	合計	6,349,092 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	2,817,276 円	
		一般財源	8,094	7,396	6,349	12,536	委託料	493,560 円	
	職員人件費 ②		1,403	1,408	1,175	1,141	備品購入費	3,038,256 円	
	総事業費（①+②）		9,497	8,804	7,524	13,677			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			図書充実事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	保育・幼児教育の充実							
	目的	保育園児を対象とする図書類を充実させ、 図書を活用した保育及び保護者への貸出しを 通じて園児がより多くの図書と触れ合うこと で図書への興味や情操が高まるようにする。				主たる内容	保育園で、老朽化した絵本の更新、新刊絵 本を購入する。			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	保育園児			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
保育図書（絵本類）の購入		保育図書（絵本類）の購入		保育図書（絵本類）の購入		保育図書（絵本類）の購入				
成果		図書類の購入により、時代に沿った情報を得たり、園児が多くの図書と触れ合うことができた。また、現在保育園にある本も補修することによって物を大切に取り扱い扱うことや、本の貸出しによってみんなで共有していること、期日等のルールを守ることを学ぶことができた。								
課題		日々園児が図書で触れ合うため、劣化が必然となるが、今後も補修できるものは行ったり、新刊絵本の購入を行うことによって、園児の情操が高まるようにしていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度 （決算）	26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （予算）	27年度 事業費内訳		
	事業費 ①		633	655	656	697	合計		655,504 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費		655,504 円	
		一般財源	633	655	656	697				
	職員人件費 ②		351	352	392	380				
	総事業費（①+②）		984	1,007	1,048	1,077				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			保育園スポーツ教室開催事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	保育園係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	専門家の訪問指導により、ルールを守る大切さや体を動かす楽しさを体験する。		主たる内容	○サッカー教室 ・5歳児対象 ・年2回、1回1時間程度 ・ボールを使った遊び、ゲーム等				
	位置づけ	関連計画							
	根拠法令								
	対象者	保育園児		事業期間	平成19年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		サッカー教室開催 (富士松南保育園始め10園)		サッカー教室開催 (富士松南保育園始め10園)		サッカー教室開催 (富士松南保育園始め10園)		サッカー教室開催 (富士松南保育園始め10園)	
成果		園児が楽しめるメニューにより、体を動かす楽しさを体験することができた。また、チームワークが必要なスポーツであることから協調性、コミュニケーション能力を養う機会にもなった。							
課題		事業の効果をより広めるために対象を拡大したり、開催回数を増やすべきかなどを検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		サッカー教室の開催数（回）		10	20	20	20	20	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	27年度 事業費内訳	
	事業費 ①		500	1,000	1,000	1,000	合計	1,000,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,000,000 円	
		一般財源	500	1,000	1,000	1,000			
	職員人件費 ②		701	352	196	380			
	総事業費 (①+②)		1,201	1,352	1,196	1,380			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			保育所広域入所事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	出産による里帰りで他市町村の保育所に入園を希望される児童のため、市外での広域入所を実施し、保育を必要とする児童の福祉の増進を図る。	主たる内容	里帰り出産により、希望する他市町村の保育園に入所を依頼し、広域入所委託契約を実施する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	保育園児、保護者	事業期間	～					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		相談件数 7件 (委託 7件/受託 0件)		相談件数 18件 (委託 14件/受託 0件)		相談件数 7件 (委託 7件/受託 0件)		相談件数 14件 (委託 14件/受託 0件)	
成果		平成27年度実績として7件の広域入所相談があり、全て委託することができた。							
課題		委託については概ね案内はできているが、受託に関しては他市町村から相談があっても、園によっては定員一杯の可能性もあり、受入が難しい状況にある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		広域入所委託人数（人）		7	14	7	14	14	
活動指標		広域入所受託人数（人）		0	1	0	1	1	
他市との比較検証									
C 事業コスト 建設事業		単位：千円		25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	27年度 事業費内訳	
	事業費 ①		2,197	3,861	1,672	3,042	合計	1,671,550 円	
	財源	特定財源	904	1,306	320	822	委託料	1,671,550 円	
		一般財源	1,293	2,555	1,352	2,220			
	職員人件費 ②		701	704	588	570			
	総事業費 (①+②)		2,898	4,565	2,260	3,612			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0		広域入所利用者負担金 施設型教育・保育給付費等負担金			
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			外国人園児等支援事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	保育園係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	日本語の理解できない外国人園児や保護者に対し通訳を巡回させ、保育園での相談等に応じ、安定した保育園生活が送れる環境を整える。		主たる内容	通訳者が必要園を巡回しながら、日本語が理解出来ない園児や保護者と保育士との間を通訳したり、文書を翻訳したりする。				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	保育園児 保護者		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		訪問回数 月20回 午前3時間あるいは午後4時間 年間 650件		訪問回数 月15回 午前3時間あるいは午後4時間 あるいは一日8時間 年間 840件		訪問回数 月約11回 午前3時間あるいは午後4時間 あるいは一日7時間 年間 219件		訪問回数 月約15回 午前3時間あるいは午後4時間 あるいは一日7時間 年間 220件	
成果		日本語が通じない園児と母国語で会話したり、保護者に園での子どもの様子を伝えたりすることで、安定した園生活が送れるようになった。また、手紙や子どもの記録を翻訳して保護者に渡すことで園生活の理解につながった。							
課題		会話の理解、手紙の翻訳等を通して安定した園生活が送れるため効果が大きいのが、多様な国の園児がいるので、一人の通訳者で対応できる内容に限られた。今後は多国籍語の通訳者が必要となる。							
O 実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度
	活動指標	年間訪問回数（回）			180	180	135	180	180
	活動指標	相談件数（件）			650	840	219	220	250
	他市との比較検証								
C 事業 コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		915	983	748	1,008	合計	747,960 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	747,960 円	
		一般財源	915	983	748	1,008			
	職員人件費 ②		701	704	783	760			
	総事業費（①+②）		1,616	1,687	1,531	1,768			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名		幼稚園給食実施事業				担当部	次世代育成部	
一般会計						担当課	子ども課	
款	項					目	担当係	幼稚園係
10	4	1						
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	次世代育成・子育て支援					
		施策の内容	保育・幼児教育の充実					
	目的	消耗品の購入、設備保守管理委託等を行い安全な幼稚園給食提供を行う。	主たる内容	幼稚園給食実施に伴う、臨時配膳パートの雇用、給食用消耗品の購入、細菌検査及びダムウォーターの保守管理等を行う。				
	関連計画							
	根拠法令							
	対象者	幼稚園		事業期間	平成11年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画
		ダムウォーターの定期検査の実施 安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 職員の細菌検査 （月1回実施） 牛乳アレルギーへの対応		ダムウォーターの定期検査の実施 安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 職員の細菌検査 （月1回実施） 牛乳アレルギーへの対応		ダムウォーターの定期検査の実施 安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 職員の細菌検査 （月1回実施） 牛乳アレルギーへの対応		ダムウォーターの定期検査の実施 安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 職員の細菌検査 （月1回実施） 牛乳アレルギーへの対応
成果		給食事業に必要な消耗品の購入や衛生に留意した設備の管理等をし、安全な給食が提供できている。マニュアルの見直しを毎年行い、常に、安全安心な給食が提供できている。						
課題		様々なアレルギーのある幼児がいるため、安全への留意や対応に心がけ、保護者との連携を十分に図っていく必要がある。						
指標名称（単位）			実績値		目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標								
指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト		単位：千円		25年度 （決算）	26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （予算）	27年度 事業費内訳
	事業費①		15,753	15,968	16,207	15,999	合計 16,207,472 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	賃金 10,676,640 円	
		一般財源	15,753	15,968	16,207	15,999	需用費 1,497,855 円	
	職員人件費②		701	774	862	837	役務費 2,835,689 円	
	総事業費（①+②）		16,454	16,742	17,069	16,836	委託料 1,197,288 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称		
27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			幼稚園管理事業				担当部	次世代育成部			
款	項	目					担当課	子ども課			
10	4	1					担当係	施設係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	次世代育成・子育て支援								
		施策の内容	保育・幼児教育の充実								
	目的	幼稚園の円滑な維持管理を行うため、施設整備の保全に努め、幼稚園児の快適な生活環境を維持する。			主たる内容	光熱水費、修繕料、各種の委託料、土地借上料等、円滑に幼稚園を維持管理する。					
	関連計画										
	位置づけ	根拠法令									
	対象者	公立幼稚園			事業期間	～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	B 事業 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画			
		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼稚園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼稚園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼稚園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼稚園を維持管理する。			
成果		円滑に幼稚園を維持管理することができた。									
課題		空調設備設置による光熱水費、樹木の高木化による剪定委託料、施設・設備の老朽化による修繕料の増加が予想され、幼稚園を管理するための予算の増額が必要である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
指標											
指標											
他市との比較検証											
C 事業 コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳				
	事業費 ①		46,060	47,210	52,469	68,876	合計	52,469,263 円			
	財源	特定財源	46,060	47,210	48,248	59,661	需用費	32,854,049 円			
		一般財源	0	0	4,221	9,215	役務費	2,667,827 円			
	職員人件費 ②		1,613	1,619	3,682	3,574	委託料	13,275,905 円			
	総事業費（①+②）		47,673	48,829	56,151	72,450	使用料及び賃借料	3,671,482 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称					
27年度までの累積事業費		0		幼稚園保育料 行政財産目的外使用料							
29年度以降の事業費見込		0									

会計名		図書充実事業				担当部	次世代育成部		
一般会計						担当課	子ども課		
款	項					目	担当係	施設係	
10	4					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	幼稚園を対象とする図書類を充実させ、 図書を活用した保育及び保護者への貸出しを 通じて園児がより多くの図書と触れ合うこと で図書への興味や情操が高まるようにする。		主たる内容	幼稚園で老朽化した絵本の更新、新刊絵本 を購入する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	幼稚園児	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		老朽化した絵本を更新し、新刊の絵本を購入した。		老朽化した絵本を更新し、新刊の絵本を購入した。		老朽化した絵本を更新し、新刊の絵本を購入する。		老朽化した絵本を更新し、新刊の絵本を購入する。	
成果		図書類の購入により、時代に沿った情報を得たり、園児が多くの図書と触れ合うことができた。また、現在幼稚園にある本も補修することによって物を大切に扱うことや、本の貸出しによってみんなで共有していること、期日等のルールを守ることを学ぶことができた。							
課題		日々園児が図書で触れ合うため、劣化が必然となるが、今後も補修できるものは行ったり、新刊絵本の購入を行うことによって、園児の情操が高まるようにしていく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度 （決算）	26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （予算）	27年度 事業費内訳	
	事業費 ①		2,152	2,206	2,202	2,208	合計	2,201,980 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	2,201,980 円	
		一般財源	2,152	2,206	2,202	2,208			
	職員人件費 ②		351	352	392	190			
	総事業費（①+②）		2,503	2,558	2,594	2,398			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			一時保育事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	保護者が出産、疾病や事故等により、緊急で一時的に保育できない場合に、児童を預かり子育てを家庭を支援する。	主たる内容	最大月14日を限度に一時的な保育サービスを行う。 ○対象 生後6か月以上小学校入学前 ○費用 3歳未満児 日額2,000円 3歳以上児 日額1,000円 ○利用場所 おがきえ保育園、あおば保育園					
	位置づけ	関連計画		刈谷市子ども・子育て支援事業計画					
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		申請理由別利用者数		申請理由別利用者数		申請理由別利用者数		申請理由別利用者数	
緊急		656人	緊急	581人	緊急	652人	緊急	850人	
非定型		901人	非定型	1,649人	非定型	1,927人	非定型	2,000人	
私的		2,651人	私的	2,160人	私的	1,825人	私的	2,500人	
成果		緊急（保護者の出産、疾病、事故等）、非定型的（保護者の労働等）、私的（育児疲れ等の解消）といった申請理由を明確にすることで、利用者のニーズに対応することができた。							
課題		定員超過で受入ができない場合の受入れ態勢の見直しが課題である。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		定員（人/日）			22	22	22	22	22
成果指標	利用者数（人）			4,208	4,390	4,404	5,350	5,450	
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	53	44	581	合計	43,740 円	
	財源	特定財源	0	53	44	125	需用費	43,740 円	
		一般財源	0	0	0	456			
	職員人件費 ②		701	704	783	760			
	総事業費（①+②）		701	757	827	1,341			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		給食費徴収金 一時保育利用負担金					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			幼稚園教育調査研究事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	幼稚園係		
10	4	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	保育・幼児教育の充実							
	目的	幼児教育の推進のため、保育研究の充実と指導資料の整備に努める。			主たる内容	保育内容指導研修会を計画的に実施し、保育について幼児理解や教師の援助、環境について話し合いを深め、保育研究を充実する。				
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	幼稚園教諭			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
研究予備指定園 日高幼稚園、東刈谷刈谷幼稚園		研究指定園 日高幼稚園、東刈谷幼稚園		保育内容指導研修会の実施 (9回)		(幼稚園教職員研修事業に移行)				
研究指定園 平成幼稚園、刈谷幼稚園										
成果		講師による刈谷市教育課程の月のポイントの講話を聞いたり、グループ協議会を通して、環境や教師の援助について考えを深めることができ、教育の資質向上へと結びつくことができた。 幼稚園教育における教師の課題を把握し研修会を行なったことで、刈谷市の幼児教育の推進につながっている。								
課題		幼児期からの教育の重要性が言われている中、質の高い保育の充実に向けて、さらに研究を積み重ね、幼児の成長につなげていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		保育内容指導研修会の実施回数（回）			2	2	9	—	—	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	27年度 事業費内訳			
	事業費 ①		530	450	180	1,617	合計		180,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費		180,000 円	
		一般財源	530	450	180	1,617				
	職員人件費 ②		701	704	783	760				
	総事業費 (①+②)		1,231	1,154	963	2,377				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			幼稚園スポーツ教室開催事業				担当部	次世代育成部		
款	項	目					担当課	子ども課		
10	4	1					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	福祉安全						
			基本施策	次世代育成・子育て支援						
			施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的		専門家の訪問指導により、ルールを守ることの大切さや体を動かす楽しさを体験する。		主たる内容	○サッカー教室 ・5歳児対象 ・年2回、1回1時間程度 ・ボールを使った遊び、ゲーム等				
	位置づけ		関連計画							
			根拠法令							
	対象者		幼稚園児		事業期間	平成20年度～				
	実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		サッカー教室開催 (刈谷幼稚園始め16園)		サッカー教室開催 (刈谷幼稚園始め16園)		サッカー教室開催 (刈谷幼稚園始め16園)		サッカー教室開催 (刈谷幼稚園始め16園)		
成果		園児が楽しめるメニューにより、体を動かす楽しさを体験することができた。また、チームワークが必要なスポーツであることから協調性、コミュニケーション能力を養う機会にもなった。								
課題		子どもに対して様々な効果がある事業であることから、効果をさらに大きくするための対象拡大や回数増。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		サッカー教室開催数（回）			16	32	32	32	32	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	27年度 事業費内訳		
	事業費 ①		800	1,600	1,600	1,600	合計		1,600,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料		1,600,000 円	
		一般財源	800	1,600	1,600	1,600				
	職員人件費 ②		701	352	392	570				
	総事業費 (①+②)		1,501	1,952	1,992	2,170				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			幼稚園教材研究事業				担当部	次世代育成部	
款	項	目					担当課	子ども課	
10	4	1					担当係	幼稚園係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	教師の指導技術や教材等を開発研究することによって、幼児に豊かな体験をもたらし、好奇心や探求心の育成に資する。		主たる内容	教材の開発研究、保育環境の見直し、教師の資質向上に関する研究を行う。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	幼稚園職員	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		実施事業回数	40回	実施事業回数	39回	実施事業回数	40回	実施事業回数	40回
成果		新しい教材教具の開発や指導技術を高めることができ、具体的な現場での指導により、次の日の保育に生かすことができた。							
課題		教師の資質向上につながるよう、計画的にかつ、内容をよく検討して事業を実施する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		教材研究事業の回数（回）			40	40	40	40	40
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		395	388	384	1,617	合計	383,500 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	383,500 円	
		一般財源	395	388	384	1,617			
	職員人件費 ②		701	704	783	760			
	総事業費（①+②）		1,096	1,092	1,167	2,377			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			地域に開かれた幼稚園づくり推進事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	幼稚園係	
10	4	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	少子化や子育てを巡る様々な問題に対し、地域の幼児教育のセンター的役割を果たすことによって地域全体の教育の向上に資する。			主たる内容	○保護者に対する教育相談 幼児教育に関する各種講座を開催する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	幼児、保護者、地域の方		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		46講座実施 延べ参加人数 4,368人		49講座実施 延べ参加人数 4,049人		52講座実施 延べ参加人数 4,025人		48講座実施 延べ参加人数 4,400人	
成果		地域の実情や子育て家庭を含む保護者のニーズに応え、親子の触れ合い遊びや子育て相談、子育て講座などの内容を十分検討したことにより、幼児をもつ保護者の不安の解消や情報提供につながった。							
課題		少子化、核家族の増加により、子育ての情報が入りにくいことに対して、幼稚園が幼児教育のセンター的役割をより積極的に果たし、地域社会の教育力向上に努めていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		講座回数（回）			50	50	52	48	48
成果指標		延べ人数（人）			4,368	4,049	4,025	4,400	4,500
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		752	742	768	768	合計	768,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	704,000 円	
		一般財源	752	742	768	768	需用費	64,000 円	
	職員人件費 ②		701	704	783	760			
	総事業費（①+②）		1,453	1,446	1,551	1,528			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			特定教育・保育施設等運営支援事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	2	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、特定教育・保育施設、地域型保育事業に対し財政支援を行い、教育・保育環境の向上を図る。	主たる内容	子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、特定教育・保育施設、地域型保育事業者に対し、公定価格に基づいて算定された給付費を支払う。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	特定教育・保育施設、地域型保育事業者	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		—		—		利用施設 4施設 利用児童数 4人		利用施設 4施設 利用児童数 5人	
成果		利用施設に給付費を支給することで、施設の安定した運営に寄与することができた。							
課題		突発的な事由による利用が多いため、利用児童数や費用が安定せず、計画的な予算執行ができないこと。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標	利用施設（施設）		—	—	4	4	—		
活動指標	利用児童数（人）		—	—	4	5	—		
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	501	2,744	合計	500,970 円	
	財源	特定財源	0	0	194	2,273	扶助費	500,970 円	
		一般財源	0	0	307	471			
	職員人件費 ②		0	0	392	380			
	総事業費（①+②）		0	0	893	3,124			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		施設型教育・保育給付費等負担金					
29年度以降の事業費見込		0		施設型教育・保育給付費等補助金					

会計名			園舎補修事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	3								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実							
	目的	保育園園舎の補修等により、良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。			主たる内容	○老朽化した保育園園舎、施設等の補修 ○保育園園舎、施設等の延命化のための予防的な修繕				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成行動支援計画					根拠法令		
	対象者	保育園児、保護者			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> ・置取替修繕 ・富士松北保育園調理室建具修繕 ・日高保育園保育室床研磨塗装修繕 ・東刈谷保育園調理室床塗装修繕 ・双葉保育園便所タイル補修 ・消防設備取替修繕 		<ul style="list-style-type: none"> ・置取替修繕 ・東刈谷保育園保育室壁張替補修、遊戯室袖幕取替修繕 ・おがきえ保育園玄関ホール床研磨塗装補修 ・かりがね保育園庇防水補修、屋外階段手摺補修 ・双葉保育園保育室1階床塗装修繕 		<ul style="list-style-type: none"> ・かりがね保育園くろがねもち保護、テラス木製床張替補修 ・おがきえ保育園テラス舗装修繕 ・慈友保育園天井塗装修繕 ・東刈谷保育園天井補修 		<ul style="list-style-type: none"> ・かりがね保育園屋上防水、オペレーター窓、下駄箱修繕 ・慈友保育園玄関サッシ修繕 ・東刈谷保育園トイレ床修繕 ・おがきえ保育園木製建具、アルミ建具、1階廊下フローリング塗替え、トイレ床修繕 		
		成果	老朽化した園舎、施設等を補修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。							
課題		本事業は主に大規模ではない園舎、施設等の修繕を行うものであるが、近年、施設等の老朽化が激しく、修繕箇所は増加してきている。単年度に経費が集中しないよう、順次修繕計画を策定する必要がある。								
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値		
活動指標	補修箇所数（箇所）				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標					15	7	5	9	5	
他市との比較検証										
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		3,126	4,170	10,378	8,433	合計	10,378,152 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	10,378,152 円		
		一般財源	3,126	4,170	10,378	8,433				
	職員人件費 ②		351	352	705	684				
	総事業費（①+②）		3,477	4,522	11,083	9,117				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			屋外環境整備事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実						
	目的	保育園の遊具等の安全性向上や施設の延命化を図る。			主たる内容	○老朽化した保育園の屋外施設、遊具等の改修 ○保育園の屋外施設、遊具等の延命化のための予防的な保全			
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
		根拠法令							
		対象者	保育園児、保護者			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・遊具修繕 ・慈友保育園大型遊具取替工事 ・さくら保育園大型遊具取替工事 ・東刈谷保育園正門等改修工事		・遊具修繕 ・双葉保育園西門補修 ・東刈谷保育園砂場天板補修 ・日高保育園園庭整備工事 ・かりがね保育園大型遊具取替工事 ・双葉保育園大型遊具取替工事		・遊具修繕 ・東刈谷保育園大型遊具設置工事 ・あおば保育園園庭法補修		・遊具修繕 ・双葉保育園他2園倉庫改修	
成果		門扉の改修工事、遊具点検等で指摘を受けた危険箇所の迅速な修繕により、安全性の向上に努めることができた。また、屋外施設も順次改修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。							
課題		遊具の老朽化が多く見られ、特に木製大型総合遊具は点検による指摘が多く、予算を圧迫している。今後、単年度に経費が集中しないよう、順次更新や修繕計画を立て、より安心・安全な施設管理を実施する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
活動指標	遊具更新数（基）		25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標			2	2	1	0	2		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		14,059	49,832	43,874	6,636	合計	43,873,575 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,389,626 円	
		一般財源	14,059	49,832	43,874	6,636	工事請負費	24,838,920 円	
	職員人件費②		351	563	783	760	公有財産購入費	17,067,000 円	
	総事業費（①+②）		14,410	50,395	44,657	7,396	補償、補填及び賠償金	578,029 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名		園舎補修事業				担当部	次世代育成部	
一般会計						担当課	子ども課	
款	項					目	担当係	施設係
10	4	1						
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	次世代育成・子育て支援					
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実					
	目的	幼稚園園舎の補修等により、良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。		主たる内容	○老朽化した幼稚園園舎、施設等の補修 ○幼稚園園舎、施設等の延命化のための予防的な修繕			
	位置づけ	関連計画 刈谷市次世育成行動支援計画						
	根拠法令							
	対象者	幼稚園児、保護者		事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画
		・井ヶ谷幼稚園休憩室床修繕 ・双葉保育園南棟階段室壁塗装補修 ・富士松南幼稚園廊下床研磨塗装補修		・重原幼稚園屋上防水補修 ・かりがね幼稚園廊下床板補修 ・かりがね幼稚園床研磨塗装補修 ・かりがね幼稚園テラス床マット補修 ・東刈谷幼稚園遊戯室アコーディオンカーテン修繕		・小垣江幼稚園便所壁補修 ・朝日幼稚園便所壁補修 ・住吉幼稚園遊戯室棟階段室壁塗装補修 ・平成幼稚園木床塗装補修 ・重原幼稚園テラス塗装補修 ・富士松南幼稚園屋上修繕 ・かりがね幼稚園テラス補修		—
成果		老朽化した園舎、施設等を補修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。						
課題		本事業は主に大規模ではない園舎、施設等の修繕を行うものであるが、近年、施設等の老朽化が激しく、修繕箇所は増加してきている。単年度に経費が集中しないよう順次修繕計画を立てていく必要がある。						
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		補修箇所数（箇所）		5	5	7	0	5
指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳
	事業費 ①		2,266	7,288	14,170	0	合計 14,169,600 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 14,169,600 円	
		一般財源	2,266	7,288	14,170	0		
	職員人件費 ②		351	493	705	0		
	総事業費（①+②）		2,617	7,781	14,875	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称		
27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			屋外環境整備事業				担当部	次世代育成部		
款	項	目					担当課	子ども課		
10	4	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実							
	目的	幼稚園の遊具等の安全性向上や施設の延命化を図る。			主たる内容	○老朽化した幼稚園の屋外施設、遊具等の改修 ○幼稚園の屋外施設、遊具等の延命化のための予防的な保全				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画				根拠法令			
	対象者	幼稚園児、保護者			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 遊具塗装及び修繕 井ヶ谷幼稚園ウサギ小屋屋根等修繕 小垣江東幼稚園運動場改修工事 井ヶ谷幼稚園ほか1園大型遊具取替工事 衣浦幼稚園ブランコ取替工事 		<ul style="list-style-type: none"> 遊具塗装及び修繕 井ヶ谷幼稚園ウサギ小屋屋根等修繕 平成幼稚園大型遊具取替工事 富士松北幼稚園大型遊具取替工事 東刈谷幼稚園フェンス改修工事 日高幼稚園西門嵩上げ工事 		<ul style="list-style-type: none"> 小高原幼稚園大型遊具取替工事 富士松南幼稚園大型遊具取替工事 衣浦幼稚園駐車場整備工事 富士松南幼稚園園庭整備 朝日幼稚園中庭人工芝張替 東刈谷幼稚園運動場補修 		<ul style="list-style-type: none"> 井ヶ谷幼稚園駐車場整備工事 富士松北幼稚園駐輪場整備工事 平成幼稚園園庭改修工事 重原幼稚園園庭補修 富士松北幼稚園園庭通路目地補修 かりがね幼稚園門扉補修 衣浦幼稚園舗装修繕 		
		成果	遊具点検等で指摘を受けた遊具の危険箇所の迅速な修繕により、安全性の向上に努めることができた。また、屋外施設も順次改修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。							
課題		遊具の老朽化が多く見られ、特に木製大型総合遊具は点検による指摘が多く、予算を圧迫している。今後、単年度に経費が集中しないよう、順次更新や修繕計画を立て、より安心・安全な施設管理を実施する必要がある。								
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値		
活動指標	大型遊具更新数（基）				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標					2	2	2	0	2	
他市との比較検証										
C 事業 コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①		10,782	15,659	27,558	16,686	合計	27,557,588 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	7,770,908 円		
		一般財源	10,782	15,659	27,558	16,686	工事請負費	19,786,680 円		
	職員人件費②		351	493	783	760				
	総事業費（①+②）		11,133	16,152	28,341	17,446				
建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	27年度特定財源名称					
	27年度までの累積事業費			0						
	29年度以降の事業費見込			0						

会計名 一般会計			設備等補修事業				担当部	次世代育成部		
款	項	目					担当課	子ども課		
10	4	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実							
	目的	幼稚園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。			主たる内容	○老朽化した幼稚園設備の補修 ○幼稚園設備の延命化のための予防的な保全				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成行動支援計画							
			根拠法令							
		対象者	幼稚園児、保護者			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ガスメーター取替 ・ガス調整器取替 ・ガス漏れ警報器取替 ・消防設備取替修繕 ・防犯センサー修繕 		<ul style="list-style-type: none"> ・ハードディスク取替 ・かりがね幼稚園屋外便所便器取替補修 ・かりがね幼稚園汚水管補修 ・照明器具修繕 		<ul style="list-style-type: none"> ・住吉幼稚園図書室照明取替 ・富士松北幼稚園スピーカー ・東刈谷幼稚園スピーカー ・おがきえ幼稚園スピーカー ・朝日幼稚園浄化槽放流ポンプ修繕、浄化槽内汚泥搬出修繕 ・衣浦幼稚園緞帳取替 ・小高原幼稚園緞帳取替 		<ul style="list-style-type: none"> ・平成幼稚園オペレーター他修繕 ・小垣江幼稚園オペレーター他修繕 ・刈谷幼稚園他7園舞台装置修繕 		
成果		消防設備やガス設備等の設備を修繕し、安全性の向上に努めることができた。								
課題		設備の老朽化により、修繕箇所が増加している。消火器、ガス調整器など対応年数があるものは期間を考慮して更新していく必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		補修箇所数（箇所）				30	35	35	35	30
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,854	2,475	3,052	2,600	合計	3,051,864 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	3,051,864 円		
		一般財源	1,854	2,475	3,052	2,600				
	職員人件費 ②		351	493	705	684				
	総事業費（①+②）		2,205	2,968	3,757	3,284				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			設備等補修事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実						
	目的	保育園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。			主たる内容	○老朽化した保育園設備の補修 ○保育園設備の延命化のための予防的な保全			
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成行動支援計画						
		根拠法令							
		対象者	保育園児、保護者			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> ・さくら保育園空調機修繕 ・東刈谷保育園遊戯室空調機修繕 ・日高保育園空調機修繕 ・消防設備取替修繕 		<ul style="list-style-type: none"> ・あおば保育園2階廊下手洗流し補修 ・保育園監視カメラハードディスク取替修繕 ・日高保育園舞台装置修繕 ・照明器具修繕 		<ul style="list-style-type: none"> ・慈友保育園トイレ手洗器取替 ・慈友保育園動力盤修繕 ・おがきえ保育園給湯器修繕 ・双葉保育園調理員休憩室空調機修繕 ・かりがね保育園パッシブセンサー修繕 ・日高保育園空調機用給水設備漏水修繕 		<ul style="list-style-type: none"> ・さくら保育園空調機修繕 ・慈友保育園空調機修繕 	
成果		消防設備やガス設備等の設備を修繕し、安全性の向上に努めることができた。							
課題		設備の老朽化により、修繕箇所は増加している。消火器、ガス調整器など耐用年数があるものは期間を考慮して更新していく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		補修箇所数（箇所）			15	15	6	15	15
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		921	1,009	758	1,600	合計	758,235 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	758,235 円	
		一般財源	921	1,009	758	1,600			
	職員人件費 ②		351	563	705	684			
	総事業費（①+②）		1,272	1,572	1,463	2,284			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			空調設備整備事業				担当部	次世代育成部		
款	項	目					担当課	子ども課		
10	4	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実							
	目的	現在天井扇風機のみで保育をしているが、保育室へ冷暖房設備を設置することにより、夏場の猛暑による園児への負担を軽減する。	主たる内容	○各幼稚園保育室への冷暖房設備の設置						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者	園児、教諭			事業期間	平成26年度～平成27年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績			27年度実績		28年度計画	
		_____		・各幼稚園保育室空調機設置の設計			・各幼稚園保育室空調機設置の設計		_____	
成果		夏場の猛暑による園児の負担を軽減させるため、夏前に保育室に空調機を設置し、保育環境の向上と園児の健康不安の解消を図ることができた。								
課題		春休みに工事着手できたが、休み期間中に工事完了することができなかった。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		設計実績（件）				—	1	—	—	—
成果指標		設置箇所（園）				—	—	16	—	—
他市との比較検証		_____								
C 事業コスト 建設事業		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		0	2,699	289,253	0	合計	289,253,160円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	289,253,160円		
		一般財源	0	2,699	289,253	0				
	職員人件費②		0	211	548	0				
	総事業費（①+②）		0	2,910	289,801	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0								